

# わたしの誇り 灘消防団第5分団

〈執筆者 灘消防団第5分団

宮尾 勤

わが灘消防団は8分団で組織されており、私が所属する第5分団は、増田分団長を中心に21名の団員が活動しています。灘の消防団の中では一番多くの団員を抱えています。昨年は新たに女性団員4名が入団し、よりきめ細やかに地域活動、訓練などを行っています。そんなわが第5分団のヒーローとして、中本副分団長を紹介させていただきます。

中本副分団長は、部長の時代から私たち団員の間では影の分団長といわれるくらい熱心に消防団活動をさ



灘消防団第5分団

中本 敏彦 さん

れており、すべての団員から兄貴と慕われている方です。また、奥さまも第5分団に所属されており、ご夫婦で消防団活動に励んでおられます。当分団管轄地域の行事である、だんじり祭りなどにも積極的に参加され、奥さまも消防団活動にお忙しい中、民生委員としても活動されています。

実は、私の妻も消防団に入っていますので、夫婦で消防団活動に参加する難しさを身にしみて実感しています。しかし、中本副分団長は、どんなときも笑顔で、団の統制を図ってくださり、まさにわれわれのスーパーマンといえます。

今回、11月8日に行われる神戸市小型動力ポンプ操法に、



私たち第5分団が選ばれました。私たちの分団は、30歳後半から50歳後半と高齢分団ですが、月に一度のポンプ操法訓練は欠かさず行っており、団員としての結束力は、どの団にも負けないと思っています。特に、中本副分団長はポンプ操法の指導者として、昨年8月に行われた兵庫県消防操法大会においても活躍されました。わが団の「ポン操マニュアル」といわれるほどの技術をもつ中本副分団長に指導していただき、私たち団員も大変心強く感じています。中本副分団長の指導のもと、市街地分団として、全力で神戸市小型動力ポンプ操法に挑みたいと思っています。

最後になりましたが、これからも消防団として地域の安全に貢献できるように、日々鍛錬を行っていきたいと思います。今後とも灘消防団第5分団をどうぞよろしくお願ひ致します。